

新市によせる



松山公民館（知覧）
事務員 野上イク子

走り出したからには

南九州市として走りだして5カ月余りになりました。走り出したからにはゆっくりとでも光へ向かって行かなければ何も始まりません。

ある日「合併して税金が上つとしゃなとかい」と言う声を聞きました。年を重ねるとともに収入は減少していきます。「払るとは多かどん、貰とは少なか」それは本音です。南九州市となつて負担が多くなるのではと思うのは私だけでしょうか。また、もうひとつの不

安は、南部出張所のことです。廃止するとの話を耳にしましたが本当でしょうか。今はノーマイク、少しよごれた仕事着で出かけ10分余りで用事は済みますが、廃止となると、ちよつとおしゃれして、出かけることになり一時間以上かかってしまいま

す。何かと忙しい毎日、なくてはならない出張所です。存続してほしいと願うのも私だけではないと思います。

不安を抱えながらも走り出したからには、合併してよかった、とみんなが思えるような、そして私は「南九州市から来たような市になつてほしいです。行政と市民が一体となつてあわてず・ゆっくりとみんなの声を反映できる南九州市へレッツゴー!!



川辺町商工会青年部
部長 辰野 正寿

循環型の

まちづくりへ

南九州市となり早いもので半年の月日が過ぎようとしています。多くの住民の方が合併した事を肌で感じているのではないでしょう。

我々商工青年部は、事業主や後継者で構成し、地域のまつりをはじめ多くのボランティアや研修会で自己研鑽を行つて、街の活性化のために活動しています。そして何より多くの仲間が出来て、お互いの事業で商いをしていきます。昔から「わけえたいで」という商売人同士で、持ちつ持たれつ

のとてもいい関係です。農産物では地産地消という言葉をよく耳にします。地域で生産されたものをその地域で消費することですが、商工業にも地産地消があります。地元の産業を地元で消費していただく事です。それは市外の大型店にないネットワークの良さやきめ細かなサービスが出来る地元商工業が沢山あるからです。

私たち商売人は、お客様に「こいはなかけなあ」とか声をかけていた、だと嬉しいものです。消費者の皆さんと我々商工業者が顔が見え、話が出来る関係で地元での購買力が上がつていけば、地元商工業も活性化します。そこで雇用の場も生まれ地元の優秀な人材も流出することもありません。南九州市以外の業者は納税しません。新市に期待する事は、地元で購入できるものは地元で購入し、「地元購入↓売上アップ↓納税↓歳入アップ↓住民サービ

スの向上」という地元住民への循環型のまちづくりを実践することです。そのことで南九州市が豊かで子供から高齢者の方々にまで住みやすく住民にやさしいまちになります。我々商工会青年部も微力ではありますが、南九州市発展のために協力いたします。市長・市議員の皆様のご活躍を期待しております。

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**6月上旬**開会予定

手続簡単!! 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

編集後記

3月定例会で南九州市の平成20年度当初予算が議決され、新年度もスタートして1カ月余りが経ちました。

議会運営についても、3町差異のあったものを統一しましたが、議員各位のとまどいもあつたように見受けられました。

行政サービスでも統一できず、旧3町差異のあるものもあり、市民の皆様方にもとまどいや、ご不満もあることと思いますが、市民・行政・議会が協力してできるだけ早く、南九州市政の一体化、市民の融和に取り組みたいものです。

（竹迫 毅）

▼広報編集委員会

- 委員長 森田 隆志
- 副委員長 峯苦 勝範
- 委員 竹迫 毅
- 菊永 忠行
- 田畑浩一郎
- 山下つきみ